

Weekly Report

2015～2016年度



平成27年9月29日(火)

第1782回例会

■ 会長 鴨志田 敏彦

■ 幹事 赤本 昌広

■ 会報 中村 和広

作者の言葉

我が百合丘ロータリークラブの活動は、地域に与える影響は、この多岐にわたる。その中で、最も大切なことは、お互いの絆を深め、心を通わせ、共に成長することである。そして、その成長を、社会に還元し、多くの方々に幸せを届けることである。それが、私たちの使命である。

鴨志田 敏彦

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1782回例会記録 平成27年9月29日(火) 11/46回

<点鐘> 鴨志田会長

<ソング> それでこそロータリー

<会長報告> 鴨志田会長

先に、持ち回り理事会報告です。

・指名委員会を立ち上げるにあたり、井上勇パスト会長に指名委員長を依頼いたしました。

以下、会長報告です。

1. 東日本集中豪雨被災地への義援金に対する協力依頼の件 寄付箱を回しますのご協力お願いいたします。
2. 再度・地区大会記念「ポリオ撲滅チャリティーディナーパーティー」の案内
10/26(月) 18:00～ 横浜ロイヤルパークホテル 岩崎ひろみさんのディナーパーティーです。ご興味ある方は事務局まで。
3. 2015～16年度 国際ロータリー第2590地区 米山学友総会の案内
10/3(土) 18:30～ 懇親会19:30～ ウイリング横浜
4. あさお区民まつり協賛金の御礼とパンフレット送付について
5. kirara@アートしんゆり2015 灯式・交流会のお知らせ
点灯式 11/14(土) 16:30～17:30 新百合ヶ丘 駅南口 ベデストリアンデッキ中央
交流会 11/14(土) 18:00 手打ちうどん 笹子
6. ラオスプロジェクトの感謝状を現地よりいただく

てまいりました。ラオス詳細は次週、阿久澤青少年奉仕委員長より報告の予定です。

<幹事報告> 赤本幹事

*会報着 新川崎RC 川崎北RC 川崎中原RC

*文書着 新川崎RC

*その他

- ・10月ロータリーレート 1\$=120円
- ・第3グループ人頭分担金 送金のお願いがきております。
- ・川崎西RCより 創立50周年記念式典・祝賀会の招待状が届いております。
12/18(金) 式典 14:30～ 講演会 16:00～
祝賀会 17:30～ ホテルKSP 3F

<指名委員会> 井上勇委員長

早急に指名委員会を発足し、来月中には役員案を作成し、次年度の組織を作る事となります。よろしくをお願いいたします。

<ニコニコ委員会> 小島委員

鴨志田会長→「海外ラオスプロジェクト無事に終了できました。子どもたちは大変喜んでいました。会員皆様ありがとうございます」。赤本幹事→「本日は委員会報告です。浅野委員長よろしく申し上げます」。結城会員→「パスト会長田口さんが魚を釣ってきて、岡村さん、山崎さん、佐々木さん、鈴木会員、私と、生田でごちそうになりました」。嶋会員→「父の葬儀の際には多くの方々より鄭重なる弔問をいただきありがとうございました」。阿久澤会

第1784回 10月13日 委員会報告⑥/地区会議報告(社会奉仕委員長)

第1785回 10月20日 会員卓話

第1786回 10月27日 職場訪問

員→「ラオスへ行っていただいた方々お疲れ様でした。充実した日々を送れました」。感謝をこめてニコニコへ 安藤美恵子会員、浅野会員、福家会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、中島健児会員、中島眞一会員、野島会員、大矢会員、尾崎会員、佐藤会員、鈴木文夫会員、玉井会員、寺川会員、鶴飼会員、金子会員、小島会員。

<出席委員会> 渡邊委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1782回	42	27	15		64.29%
第1781回	42	28	14	6	80.95%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	23件	25,480円	309件	357,612円
財団	0件	0円	7件	96,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	0件	0円	9件	115,000円

本日のプログラム

<ロータリー財団委員会> 浅野委員長

1. ロータリー財団に対するイメージの現状

財団の役目とはまずお金集めというのが現状で、中身に対する十分な理解がなされていません。財団の仕組みや集められた寄付金がどのように分配され使われていくのか、その資金は正しく管理・監査されているのか、入口と出口をしっかりと理解して活動を身近に感じて納得した上で寄付の協力につなげなければいけません。納得しての協力と依頼によっての協力では、結果が同じでもその過程が異なります。財団の周知活動により奉仕の実践への実感があれば、各クラブ強力な気運が高まります。

2. ロータリー財団の仕組み

①資金原資 年次基金、恒久基金、使途指定寄付(ポリオなど)

②資金の分配について

3年前の年次基金の50%が国際財団活動資金へ、50%が地区財団活動資金(年次基金+恒久基金の運用収益シェア分)となる。

地区財団活動資金は地区補助金原資とグローバル補助金原資となる。

3. ロータリー財団資金の公平性

ロータリアンから寄せられた資金を適正、公平に効果的に使用するため財団では資金管理委員会、資金監査委員会を中心に管理・監査を行っており、財団

プログラムを使用するクラブについても公平性の観点から双方の協力を前提としクラブと地区の覚書を交わしています。

・地区補助金、グローバル補助金の申請についても実施当該年度の年次基金寄付額が1人当たり120ドル以上、かつ当該実施年度の年次基金1ドルも寄付していないクラブには参加資格はありません。使う側も十分に理解し資金の管理・使用を行わなければなりません。

4. ロータリー財団の活動

①地区補助金…クラブで実施する比較的小規模な奉仕プログラム。

②グローバル補助金…二カ国で実施する側、支援する側双方が提唱を行う大型の共同プロジェクト。6つの重点分野(平和 紛争予防・紛争解決、疾病予防・治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育・識字率向上、経済地域社会の発展)のいずれかに該当、持続的な効果が可能ななど、いくつか条件として挙げられています。

③奨学金…地区奨学生、グローバル奨学生は6つの重点分野に関して研究するものと決められています。

④VTT(職業研修チーム)…海外で指導したり研修するプログラム。

⑤ロータリー平和フェロシップ…未来の国際的リーダーを育てるためのプログラム。

⑥ポリオ・プラス…ロータリーの最優先事項。地域の身近な社会奉仕一助として使用できる最も身近な財団プログラムは地区補助金です。ロータリー財団月間ですのでご協力お願いします。

